



友を大切に！

～「しんゆう」は、片思いでよい～

校長 澤田 純一

皆さん、「しんゆう」と呼べる友はいますか？

親友（親しい友） 心友（心の友） 信友（信ずる友） 真友（真の友）など書き方は多数あり、それぞれ意味ある言葉です。自分には人並みに友はいるが、「しんゆう」と呼べる友はいない、又は、「しんゆう」をつくることは難しい、と悩んでいる人はいませんか？

私には、30年以上付き合いのある「しんゆう」が沢山います。その中には1か月に1度会う友もいますし、1年に1回の友もいます。そしてかれこれ10年以上会っていない友もいます。「えっ！それって、しんゆうと呼べるの？」と思う人もいるでしょう。そうなのです。私にとっては「しんゆう」なのです。実は「しんゆう」づくりは、そんなに難しいことではないのです。それでは、「しんゆう」をどの様につくるかをお話しします。結論から言うと「しんゆうは、片思いでよい。」と言うことです。自分が親しい友と思えば親友ですし、心の友と思えば心友なのです。相手がどのように自分のことを思っているかは関係ないのです。もしかすると相手に見返りを求めないことと言えるかもしれません。それでいいのです。したがって、10年以上会っていない友でも私にとっては「真友」なのです。そして、「しんゆう」関係を継続するには一つの法則があります。それは、「継続に足りる努力をせよ。」ということです。私は、10年以上会っていない友に手紙を書きますし、台風被害が友人宅の近くと報道されれば「大丈夫か？すぐ行くから。困ったら遠慮するな。」とメールを送信します。ともすると、学生時代とても親しい友人でも、卒業後、年月を重ねるにつれ音信不通となり、いつしか友人関係も終結することがあります。ほとんどがこのパターンです。よって、「しんゆう」関係を継続したいのなら友を友として関係を継続する努力を惜しんではいけないのです。

人は、一生のうち約3000人と出会うと言われています。東中で出会ったのも何かの縁ですね。その縁を大切にし、2学期を過ごしてください。



フオーン 2学期もよろしくね